

○第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する  
調査 調査項目

**1 事前Q**

1-1 居住地

- ①お住まいの都道府県(47都道府県プルダウン)
- ②お住まいの市区町村名( )

1-2 あなたが同居している方を全て選んでください。あなたとの関係(続柄)でお答えください。

- 1. 誰とも同居していない(一人暮らし)
- 2. 配偶者
- 3. 18歳未満の息子・娘
- 4. 18歳以上の息子・娘
- 5. 父母(配偶者の父母を含む)
- 6. 祖父母(配偶者の祖父母含む)
- 7. 孫
- 8. 兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)
- 9. その他(具体的に)

(前問で2(配偶者)と回答した者を除く)

1-3 あなたの婚姻状況をお答えください。

- 1. 未婚
- 2. 既婚
- 3. 離別
- 4. 死別

<息子・娘が18歳未満(Q1-2で「3」を選択)>

1-4あなたの子供(令和3年4月1日時点で18歳未満の方)について教えてください。

①18歳未満の子供の人数

②子供の生年月を一人目から(年齢の高い順に)回答してください。

③子供の学校等を回答してください

生年月	学校等	
プルダウン選択②		
	プルダウン③選択肢 A (0~6歳相当) 1. 未就園 2. 保育園・幼稚園等	プルダウン③選択肢 C(高1~高3相当) 1 公立高校(高専) 2 私立高校(高専) 3 専門学校 4 働いている 5 その他
	プルダウン③選択肢 B (小1~中3) 1 公立 2 私立	

※1 ②の入力欄は、①で入れた人数のみ最初から表示

※2 学校の区分は、3、小学校~5. 高校(高専)を選択した場合のみ表示

プルダウン選択肢②
1 2003年4月~2004年3月(高3相当)
2 2004年4月~2005年3月(高2相当)
3 2005年4月~2006年3月(高1相当)
4 2006年4月~2007年3月(中3)
5 2007年4月~2008年3月(中2)
6 2008年4月~2009年3月(中1)
7 2009年4月~2010年3月(小6)
8 2010年4月~2011年3月(小5)
9 2011年4月~2012年3月(小4)
10 2012年4月~2013年3月(小3)
11 2013年4月~2014年3月(小2)
12 2014年4月~2015年3月(小1)
13 2015年4月~2016年3月(6歳相当)
14 2016年4月~2017年3月(5歳相当)
15 2017年4月~2018年3月(4歳相当)
16 2018年4月~2019年3月(3歳相当)
17 2019年4月~2020年3月(2歳相当)
18 2020年4月~2021年3月(1歳相当)
19 2021年4月以降(0歳)

1-5 あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)
2. 非正規雇用(正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員、有期労働者など)
3. 会社などの役員
4. 自営業(手伝いを含む)
5. 内職・在宅ワーク
6. 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)
7. 休業中
8. 無職(求職中)
9. 無職(求職していない)

## 2 【働き方(就業者への質問)】

2-1 働き方に関する意識の変化についてお聞きします。新型コロナウイルス感染症(以下、感染症という)拡大前(2019年12月)に比べて、ご自身の「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたか。

1. 感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化
2. 感染症拡大前よりも、仕事を重視するように変化
3. 変化はない
4. わからない

2-2 感染症拡大前(2019年12月)に比べて、職業選択やその希望は変化しましたか。該当するもの全てに回答してください。

1. 変化していない
2. まだ具体的ではないが将来の仕事・収入について考えるようになった
3. 希望する就業先や異動先が変化した
4. 副業を持った
5. 新たに副業を検討しはじめた
6. 転職した
7. 新たに転職を検討しはじめた
8. その他(具体的に)
9. わからない

(前問で1以外を選んだ人)

2-3職業選択やその希望が変化した理由は何ですか。重要なものから順に選んでください。

(最大3つ)

1. 感染症の影響下において収入が減少したから
2. 感染症の影響下において仕事のやりがいを感じづらくなったから
3. 感染症の影響下において仕事が多忙を極めたから
4. 感染症を契機に、人口過密な地域を離れたいと考えたから
5. 感染症を契機に、「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識が変化したから
6. 感染症を契機に、新たなチャレンジを試みたいと考えたから
7. その他、感染症に関係する理由
8. 感染症と関係無い理由
9. 特にない
10. わからない

#### **副業**

2-4副業の実施状況について、該当するもの全てに回答してください。

1. 副業に関心が無く、行っていない
2. 副業に関心があるが、行っていない
3. 本業とは別の企業・法人に雇用されている(主に専門知識や経験を生かす目的等)
4. 本業とは別の企業・法人に雇用されている(主に収入目的等)
5. 本業とは別に、個人で事業を実施している(主に専門知識や経験を生かす目的等)
6. 本業とは別に、個人で事業を実施している(主に収入目的等)
7. 本業とは別に、NPO 活動・地域活動などの社会貢献活動を実施している
8. その他(具体的に)

(前問で「2」を回答した人)

2-5副業に関心があるが行っていない理由として、該当するもの全てに回答してください。

1. 本業の勤務先で副業が許されていないため
2. 本業の勤務先での人事評価等に影響しないか不安
3. 本業と副業を両立できるか不安
4. 適当な副業が見つからない

5. どのような副業に取り組めばよいかまだ検討中
6. その他(具体的に)
7. わからない

2-6 (本業の)勤務先の制度で、副業は許容されていますか。

1. 許容されている
2. 例外的に許容される場合がある
3. 禁止されている
4. 許容・禁止が曖昧である
5. 制度を知らない・わからない
6. その他(具体的に)

(前問で「2」か「3」を選択した人に質問)

2-7(本業の)勤務先の制度で、副業を許容しない理由は何だと考えますか。(最大3つ)

1. 副業をどの程度許容して良いか判断がつかないから
2. 生産性や売上が落ちると考えているから
3. 人材流出の懸念があるから
4. 労務管理が困難だから(通勤手当、労災の適用範囲等)
5. 利益相反や情報漏洩を懸念しているから
6. その他(具体的に)
7. わからない

#### テレワーク等

2-8 現在の働き方として該当するもの全てに回答してください。

1. テレワーク(ほぼ 100%)
2. テレワーク中心(50%以上)で、定期的に出勤を併用
3. 出勤中心(50%以上)で、定期的なテレワークを併用
4. 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用
5. 週4日、週3日などの勤務日制限
6. 時差出勤やフレックスタイムによる勤務
7. 特別休暇取得などによる勤務時間縮減

8. 休業(自宅待機等を含む)
9. その他(具体的に)
10. いずれも実施していない

2-9 感染症拡大後、あなたの職場において、テレワークのための業務改善として取り組まれたものについて、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワークできない又は合わない職種である(対面サービス、製造、輸送、建設工事等)
2. 社内の打合せや意思決定の仕方の改善
3. 顧客や取引先との打合せや交渉の仕方の改善
4. 社内外の押印文化の見直し
5. 書類のやりとりを電子化、ペーパーレス化
6. 現金を重視した手続き、習慣の見直し
7. 社内システムへのアクセス改善
8. 仕事の進捗状況の確認や共有の仕方の改善
9. その他(具体的に)
10. 特になし
11. わからない

<テレワークを実施した者>

2-10 あなたの職場において、テレワークで不便な点と考えられるものに関し、重要なものから順に回答してください。(最大3つ)

1. テレワークできない又は合わない職種である(対面サービス、製造、輸送、建設工事等)
2. テレビ通話の質の限界(タイムラグ、音声や映像の乱れ等)
3. 取引先等とのやりとりが困難(機器、環境の違い等)
4. 機微な情報を扱い難いなどのセキュリティ面の不安
5. 通信費の自己負担が発生
6. 社内での気軽な相談・報告が困難
7. 画面を通じた情報のみによるコミュニケーション不足やストレス
8. 大勢で一堂に会することができない
9. 在宅では仕事に集中することが難しい住環境
10. 同居する家族への配慮が必要

11. 仕事と生活の境界が曖昧になることによる働き過ぎ
12. その他(具体的に)
13. 特にない
14. わからない

2-11 今後、どの程度の頻度でテレワークを利用したいですか。

1. 完全にテレワーク
2. テレワーク中心(50%以上)で、定期的に出勤を併用
3. 出勤中心(50%以上)で、定期的なテレワークを併用
4. 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用
5. 職場はテレワーク利用が可能だが、利用したくない
6. テレワーク利用は困難(業務内容が即さない)
7. わからない

#### 正規・非正規(同一労働同一賃金/正規化)

(雇用されている人への質問)

2020年4月※1、正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)と非正規雇用(正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員、有期労働者など)との間の不合理な待遇差※2を禁止する「働き方改革関連法案」が施行されました。

※1 中小企業においては、2021年4月から

※2 職務内容や配置変更の範囲(全国転勤や時間外労働の有無)が同じにもかかわらず、賃金(賞与・手当を含む)や福利厚生などの差がある場合

2-12 勤務先において、昨年4月以降、正規と非正規で同じ内容の仕事をしているのに、賃金・待遇に格差があるケースはありましたか。

1. 昨年4月以降は無い(昔は格差があったが、今は解消された)
2. 昔からない
3. 現在も格差があるが、合理的な理由があると思う
4. 現在も格差があるが、合理的な理由が分からない
5. わからない

(非正規雇用の人への質問)

2-13 どうして今の雇用形態についているのですか。

①当てはまるものすべてを回答 ②うち おもなもの一つを回答

1. 自分の都合のよい時間に働きたいから
2. 家計の補助・学費等を得たいから
3. 家事・育児・介護等と両立しやすいから
4. 通勤時間が短いから
5. 専門的な技能等をいかせるから
6. 正規の職員・従業員の仕事がないから
7. その他

(非正規雇用の人への質問)

2-14 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)で働きたいと思いませんか。

1. 全国転勤があつたり、時間拘束や責任が重くなつても、正規雇用で働きたい
2. 「短時間正社員」や「地域限定正社員」の仕事があれば、正規雇用で働きたい
3. 正規雇用で働きたいとは思わない。
4. その他
5. わからない

(就業者のみ)

**リカレント教育**

2-15 あなたは、リカレント教育(仕事に活用するための学び直し)をしていますか。あてはまるものを全て回答してください。

1. 専門的な資格の取得
2. 経営・ビジネスに必要な知識や能力の向上
3. 英語などの語学力の向上
4. マネジメント力の向上
5. 学位の取得
6. プログラミングなどの IT 関連スキルの取得
7. リベラルアーツ(一般教養)の学習
8. その他



9. 今後、学び直す予定がある
10. 特にない
11. わからない

(前問で10、11 と回答した人以外)

2-16あなたがリカレント教育に取り組んでいる理由としてあてはまるものを全て回答してください。

1. 現在の仕事に活かすため(業務効率化や質の向上)
2. 昇進・昇給のため
3. 資格取得のため
4. 今後のキャリアの選択肢を広げるため(新たなチャレンジ)
5. 転職活動に備えるため
6. その他
7. 特にない
8. わからない

(就業者)

2-17 あなたがリカレント教育(仕事に活用するための学び直し)を行うにあたって障害となるものについて、あてはまるものを回答してください。(最大3つ)

1. 費用がかかりすぎる
2. 仕事が忙しくて余裕がない
3. 家事・育児が忙しくて余裕がない
4. 学び直しの結果が社内で評価されない
5. 休暇取得・早退等が会社の都合でできない
6. 自分の目指すべきキャリアがわからない
7. 適当な教育訓練機関、手段が見つからない
8. その他
9. 特にない
10. わからない

2-18感染症拡大前(2019年12月)と比べて、労働時間はどのように変化しましたか。感染

症拡大前(2019年12月)の労働時間を100とした場合の数字でお答えください。例えば、労働時間が2割減少した場合は「80」、1.3倍になれば「130」となります。上限を「200」としてお答えください。

2-19感染症拡大前(2019年12月)と比べて、仕事の生産性はどのように変化したと感じましたか。感染症拡大前(2019年12月)の仕事の生産性を100とした場合の数字でお答えください。例えば、仕事のパフォーマンスが2割減少した場合は「80」、1.3倍になれば「130」となります。上限を「200」としてお答えください。

2-20感染症拡大前(2019年12月)と比べて、1週間の中で通勤にかかる時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

### 3【結婚・子育て(子育て世代等)】

#### 家族と過ごす時間等

3-1感染症拡大前(2019年12月)と比べて、家族と過ごす時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)

## 8. わからない

3-2 現在の家族と過ごす時間を今後も保ちたいと思いますか。

1. 保ちたい
2. どちらかというと保ちたい
3. どちらかというと保ちたくない
4. 保ちたくない
5. わからない

3-3 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、家事・育児に費やす時間はどのように変化しましたか。感染症拡大前(2019年12月)の家事・育児時間を100とした場合の数字でお答えください。例えば、家事・育児時間が2割減少した場合は「80」、1.3倍になれば「130」となります。上限を「200」としてお答えください。

3-4 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、配偶者(あなたの夫又は妻)の働き方に変化はありましたか。該当するもの全てに回答して下さい。

1. テレワークの利用・利用増加
2. 労働時間の柔軟化(時差出勤、フレックスタイム等)
3. 労働時間の減少
4. 労働時間の増加
5. その他の変化(具体的に)
6. 変化は無い

### **夫婦間の役割分担**

3-5 感染症拡大前(2019年12月)と比べて、家事・育児に関する夫妻間の役割分担の変化はどのように変化しましたか。

1. 夫の役割が増加
2. 夫の役割がやや増加
3. 妻の役割が増加
4. 妻の役割がやや増加
5. 夫・妻ともに役割が増加

6. 夫・妻ともに役割が減少
7. 夫妻の役割分担に変化は無い

3-6家事・育児に関する夫妻間の役割分担の変化について、あてはまるものを回答してください。

1. 感染症拡大を契機に役割分担が変化した、現在は概ね元に戻っている
2. 感染症拡大を契機に役割分担が変化した、現在もその変化が概ね継続している
3. 感染症拡大を契機とした役割分担の変化は無い
4. その他(具体的に)
5. わからない

(前問で「1」を選択)

3-7 感染症拡大を契機に変化した役割分担が元に戻った理由について、あてはまるもの全てに回答してください。

1. 自分の職場の変化
2. 自分の意識・気持ちの変化
3. 配偶者の職場の変化
4. 配偶者の意識・気持ちの変化
5. 子供の環境の変化(学校再開等)
6. 自然な成り行き
7. その他(具体的に )
8. わからない

(前々問で3以外を選択)

3-8家事・育児に関する夫妻間の役割分担が変化して、夫妻の関係はどのように変化しましたか。

1. 夫妻の関係が良くなった
2. 夫妻の関係がやや良くなった
3. 夫妻の関係は概ね変化無い
4. 夫妻の関係がやや悪くなった
5. 夫妻の関係が悪くなった

## 6. わからない

### 出産後の女性の就業状況

<子育て世帯(18歳未満の子供をもつ方)>

3-9あなたの家庭における女性(妻)の子供が生まれた際の実業状況について、回答してください。(あなたが女性なら自分自身について、あなたが男性なら配偶者について回答してください。)

対象	対象時期	就業状況
一人目 (年齢が高い子供から)	一人目の妊娠がわかったとき	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7
	一人目が1歳になったとき	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7
二人目	二人目の妊娠がわかったとき	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7
	二人目が1歳になったとき	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7
三人目	三人目の妊娠がわかったとき	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7
	三人目が1歳になったとき	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7

(就業状況)

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)
2. 非正規雇用(正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員、有期労働者など)
3. 自営業(手伝いを含む)
4. 内職・在宅ワーク
5. 無職・家事
6. 学生
7. わからない

※1 産休・育児休業中の場合は就業とみなします。休業前の就業状況に○をつけてください。

※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人目までの記入で結構です。

※ 生んだお子さんが1歳未満の場合は、「1歳となったとき」について空欄のまま結構です。

### 男性の育児休業

<20歳代～30歳代の既婚者>

3-10 あなたの家庭で今後、子供が産まれた際に、男性(夫)は育児休業を取得すると思いますか。(あなたが男性なら自分自身の育休、あなたが女性なら配偶者の育休について回答して下さい。)

1. 育休は取得しない
2. 1週間未満の育休を取得
3. 1週間以上～2週間未満の育休を取得
4. 2週間以上～1ヵ月未満の育休を取得
5. 1ヵ月以上の育休を取得
6. 分からない

＜前問で1～4を選んだ者＞

3-11 1ヵ月以上の育児休暇を取得しない理由について、あてはまるもの全てに回答してください

1. 職場が、男性の育休取得を認めない雰囲気であるため
2. 職場に迷惑をかけたくないため
3. 周囲からの評価に影響がでるため(昇進等への影響)
4. 収入が減少してしまうため
5. 仕事にブランクができ、自分の能力が低下するため
6. 妻が育児することができ、男性が育児休暇を取得する必要は無いため
7. 育児や家事をするのは好きでないため
8. その他
9. わからない

＜雇用者全員＞

3-12 あなたの職場の同僚(上司・部下含む)の男性について伺います。子供ができた同僚男性は原則、1ヵ月以上の育児休業を取得することとなった場合、抵抗感がありますか。

1. 抵抗感が大きい
2. 抵抗感がある
3. 抵抗感はない
4. 職場に同僚男性はいない
5. わからない

**結婚への関心等**

＜未婚の方＞

3-13あなたは、結婚したいと思いますか。

1. 1年以内に結婚したい
2. 3年以内に結婚したい
3. いずれは結婚したい
4. 一生結婚するつもりはない
5. わからない

3-14感染症拡大前(2019年12月)と比べて、結婚への関心に変化はありましたか。

1. 関心が高くなった
2. 関心がやや高くなった
3. 変わらない
4. 関心がやや低くなった
5. 関心が低くなった

3-15 あなたは交際相手がありますか。いない場合、感染症拡大前(2019年12月)からの新たな出会いの変化として最もあてはまるものを回答してください。

1. 交際相手がいる
2. 新たな出会いが非常に増加した
3. 新たな出会いが増加した
4. 変化無し
5. 新たな出会いが減少した
6. 新たな出会いが非常に減少した
7. 交際相手はいないが、必要ないので探していない
8. わからない

3-16あなたが結婚していない理由について、あてはまるものを全て回答してください。

1. 交際相手がない
2. 結婚資金が不足しているため
3. 結婚後の資金面(現在の経済力)に不安があるため(収入が低い、雇用が不安定など)
4. 自分は結婚したいが相手に結婚の意思がないため

5. まだ必要性を感じないため(若すぎる、仕事や趣味に打ち込みたいなど)
6. 適当な相手とまだ巡り合っていないため
7. その他
8. 特にない
9. わからない

(前問で1を回答した人)

3-17あなたが結婚への交際相手探しの際に求めるものとして、あてはまるものを全て回答してください。

1. 経済力
2. 家事力
3. 趣味や価値観が同じこと
4. 年齢
5. 職業・職種(休日の曜日など)
6. 職歴・学歴
7. 人間関係
8. 容姿(見た目)
9. その他
10. 特にない
11. わからない

#### **子どもの教育等**

(18歳未満の子供を持つ親のみ)

3-18 あなたの子供のうち、小学生以上で一番年齢の低い子供について回答してください。

直近1ヵ月において、あなたの子供が経験した教育を全て回答してください。

1. 学校の先生からオンライン授業を受けている
2. 学校の先生からオンライン上の学習指導(メール等)を受けている
3. 学校から家庭用のオンライン教材の提供を受けている
4. 学校以外の塾や習い事でオンライン授業を受けている
5. 学校以外の塾や習い事でオンライン上の学習指導(メール等)を受けている
6. 学校以外の塾や習い事でオンライン教材の提供を受けている



7. その他のオンライン教育を受けている
8. オンライン教育を受けていない
9. わからない

3-19 子供へのデジタル端末の配布が進んでいますが、その活用状況としてあてはまるものの全て回答して下さい。

1. 自宅学習に活用しており、学習意欲向上等のプラスの効果がある
2. 自宅学習に活用しているが、プラスの効果は感じない
3. 自宅と学校の連絡用に活用している
4. 子供から学校の授業で活用していると聞いている
5. 配布されたが、活用状況は良くわからない
6. 端末を既に持っているため、配布を断った
7. 配布されていない
8. わからない

#### 4【地方関係】

##### 地方移住

<東京圏在住者に質問>

4-1 現在の地方移住への関心の程度について回答して下さい。

1. 強い関心がある
2. 関心がある
3. やや関心がある
4. あまり関心がない
5. 全く関心がない

<全員に質問>

4-2 この半年の間で、地方移住に向けて具体的な行動をしましたか。当てはまるものすべてを選んでください。

1. 具体的に行動していない
2. 移住先を決定し、具体的な引っ越し予定がある

3. 移住先での就職情報を調べた
3. 移住先での住宅情報を調べた
4. 移住先の学校情報を調べた
5. 移住のための相談窓口を利用した
6. 移住に向けて家族と具体的な相談をした
7. 引越資金集めを始めた
8. その他(具体的に)
9. 既に地方移住した

＜前々問で地方移住に関心がある(1、2、3)又は前問で地方移住した(9)と回答した人に質問＞

4-3地方移住へ(やや)関心がある／移住した理由として、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワークによって地方でも同様に働けると感じたため
2. 買物・教育・医療等がオンラインによって同様にできると感じたため
3. 現住地の感染症リスクが気になるため
4. 感染症を契機に地元に戻りたいと感じたため
5. 人口密度が低く自然豊かな環境に魅力を感じたため
6. ライフスタイルを都市部での仕事重視から、地方での生活重視に変えたいため
7. 感染症を契機に将来のライフプランを考え直したため
8. テレビやネット等で地方移住に関する情報を見て興味を持ったため
9. 感染症と関係ない理由
10. その他
11. 特になし
12. わからない

(Q4-1で地方移住に関心がある(1、2、3)とした人に質問)

※前問で地方移住した(9)と回答した人は除く

4-4地方移住や郊外への移住に関心はあるが実行していない理由として、地方移住にどのような点で懸念をもっていますか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 仕事や収入

2. 子育て・教育環境
3. 医療・福祉施設
4. 買物や公共交通等の利便性
5. 人間関係や地域コミュニティ
6. 移住資金の不足
7. まだ具体的に検討していない
8. その他(具体的に)
9. 特にない
10. わからない

### **多様な地方移住**

(東京圏の就業者に質問)

4-5 地方に移住し、地方に住みながら、テレワークで現在と同じ仕事を継続する「転職なき移住」に関心はありますか。

1. 現在の仕事でテレワークでの仕事は困難で、興味はない
2. テレワークで仕事は可能だが、興味はない
3. やや関心がある
4. 関心がある
5. すぐにでも「転職なき移住」をしたい

(東京圏の就業者に質問)

4-6 地方の別荘やシェアハウスで定期的に暮らす(1年間の1ヵ月以上を地方で暮らす)「二地域居住」や「多拠点居住」に関心はありますか。

1. 関心は無い
2. やや関心がある
3. 関心がある
4. すぐにでも「二地域居住」や「多拠点居住」をしたい

## **5 【学生(大学生・高校生等本人)の方】**

### **学生(大学生・高校生)の環境・考え方の変化**

5-1 感染症拡大を契機として、学習意欲(前向きに学習に取り組もうという気持ち)は変化しましたか。

1. 高まった
2. やや高まった
3. 概ね変化無い
4. やや低下した
5. 低下した
6. わからない

5-2 感染症拡大前(2019年12月)に比べて、学習時間(自習、授業、研究等の合計時間)はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

5-3 将来の進路に関してお聞きします。感染症拡大前(2019年12月)に比べて、東京圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)で就職するか、それ以外で就職するかの選択・希望に変化はありましたか。

1. 変わらない
2. 東京圏での就職志向が高まった
3. 地方都市での就職志向が高まった
4. 地方(都市部以外)での就職志向が高まった
5. わからない

#### <全員に質問>

5-4 今後、就職・転職する企業を選ぶ際に、どのような観点を重視しますか。あてはまるもの

を回答して下さい(最大3つ)。就職・転職する予定はない場合は就職・転職すると仮定してお答えください。

1. 大企業であること
2. 中小企業であること
3. 今後の成長が見込まれる企業であること
4. 堅実な経営をしている企業であること
5. 採用時の給料(新規採用の場合は初任給)が高いこと
6. 女性や若手が幹部として登用されていること
7. SDGs(環境、人権、社会貢献等)に力を入れていること
8. テレワークがしやすいこと
9. 育児休業が取得しやすいこと
10. 自分が成長できそうなこと
11. 社会的な評価、評判が良いこと
12. その他
13. わからない

## 6 【コロナ関係】(全員に質問)

### コロナ

6-1 昨年と今年のゴールデンウィークの過ごし方について、該当するものを全て選んで下さい。

	今年のGW	昨年のGW
遠方の実家へ帰省する		
旅行する(居住地の都道府県以外へ)		
普段はあまり会わない友人と会う		
大人数(5人以上)で会食する		
該当する過ごし方はない		

6-2 コロナ疲れを感じますか

1. 感じる

2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

(前問で1. 2と回答した人のみ回答)

6-3 コロナ疲れを感じる中でも、コロナ対策を行う理由は何ですか。あてはまるものを全てを回答してください。

1. 自分が感染したくないから
2. 他人を感染させたくないから
3. 周囲の目線が気になるから
4. 行政機関の要請に従わないといけないと思うから
5. その他
6. わからない

6-4 これまで、どういった呼びかけや情報があった際に、あなた自身のコロナ対策(外出抑制等)を強化しようと思いましたか。重視するものを最大3つ回答して下さい。

1. 政府(総理・大臣等)からの対策の呼びかけ
2. 地方自治体(知事等)からの対策の呼びかけ
3. 著名人からの対策の呼びかけ
4. 医療関係者からの対策の呼びかけ
5. 感染者数の増加
6. 死亡者数の増加
7. 病床のひっ迫
8. 知人がコロナに感染した時
9. 著名人のコロナ感染のニュース
10. Cocola で感染者との接触が分かった時
11. その他
12. 呼びかけや情報からコロナ対策を強化したことは無い

6-5 コロナを受けて行動内容を判断する際に、どのような情報媒体を重視していますか。重

視するものを最大3つ回答して下さい。

1. 政府(国)のホームページ
2. 地方自治体のホームページ
3. NHK(テレビ)
4. 民放(テレビ)
5. 新聞
6. ラジオ
7. SNS
8. 勤務先、地域等の広報・情報提供
9. その他
10. 重視している情報媒体は無い

## 7【その他】

### 満足度・不安等

7-1全体としての生活の満足・不満の程度についてお聞きします。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、現在の生活は何点くらいになると思いますか。

### Q7-2～7-6

「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、以下の項目について、現在はそれぞれ何点くらいになると思いますか。

7-2あなたの「健康状態」に関する満足度

7-3あなたの「仕事」に関する満足度

(※)仕事には、収入を伴う仕事だけでなく、学業・家事・介護・育児・買い物などの義務的な時間を含む。

7-4あなたの「子育てのしやすさ」に関する満足度

7-5あなたの「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」に関する満足度

7-6あなたの「生活の楽しさ・面白さ」に関する満足度

7-7感染症の影響下において、新たに挑戦したり、取り組んだりしたことはありますか。該当するもの全て選択してください。

1. 特に挑戦したり、取り組んだりしたことはない

2. ビジネス(起業、副業、新商品開発等)に新たに挑戦した
3. ビジネス関係の勉強(資格取得、スキルアップ、転職情報収集等)に新たに取り組んだ
4. 教育・学習(新しい分野、技術、語学等)に新たに取り組んだ
5. オンラインでの発信(YouTube 等)、オンラインでの交流(Zoom 等)に新たに挑戦した
6. 本格的な趣味(芸術、料理等)に新たに挑戦した
7. 今までやれなかった日常生活に関わる事(家の修繕等)に新たに取り組んだ
8. わからない

7-8 感染症拡大前(2019年12月)に比べて不安が増していることがありますか。ある場合はどのような不安か、あてはまるものを全てを回答してください。

1. 不安はあるが感染症拡大前から増してはいない
2. 不安は感じていない
3. 生活の維持、収入に関する不安
4. 仕事に関する不安
5. 結婚、家庭に関する不安
6. 健康に関する不安
7. 子どもの育児、教育に関する不安
8. 親などの生活の維持、支援に関する不安
9. 人間関係、社会との交流に関する不安
10. 地球環境、地球規模の課題に関する不安
11. 将来に対する全般的な不安
12. わからない

7-9以下の項目について、感染症拡大前(2019年12月)と比較して、「現状維持」を0点、「非常に良化している」を5点、「非常に悪化している」を-5点とすると、現在はそれぞれ何点くらいになると思いますか。

- ① 地域のつながりや助け合いが広がっていると感じますか
- ② 地球環境問題などの国際的課題への取組が広がっていると感じますか
- ③ 職場・地域・行政等の変化が進んでいると感じますか
- ④ 自分自身の暮らしのデジタル化が進んでいると感じますか



7-10年収要件等(※)を満たせば、これまで仕事をしていなかった人も、2ヶ月～6ヶ月の間、無料で職業訓練を受けることができ、月額10万円の給付を受けられる「求職者支援訓練」について、知っていましたか。

1. 知っている
2. 知らない

(※)以下の全てを満たす方が対象

・本人収入が月12万円以下

※シフト制で働く方など。令和3年9月30日までの特例措置

・世帯全体の収入が月25万以下

・原則として、全ての訓練実施日に出席すること

・週20時間以上仕事をしておらず、ハローワークに求職登録し、職業訓練などの支援が必要と認められること

<学生以外の方に質問>

7-11あなたは、「求職者支援訓練」の支給要件である次の2つの年収条件両方にあてはまりますか。条件1:本人収入が月12万円以下、条件2:世帯全体の収入が月25万円以下

1. 条件2つともあてはまる
2. 条件1つのみあてはまる
3. 条件にあてはまらない

<前問で1と回答した人に質問>

7-12あなたは、「求職者支援訓練」を利用したいと思いませんか。

1. 利用したい
2. 利用したいと思わない
3. わからない

7-13年収要件等(※)を満たす、ひとり親世帯の親は、最長4年間、無料で職業訓練を受けることができ、月額10万円の給付を受けられる「高等職業訓練促進給付金」について、知っていましたか。

1. 知っている

## 2. 知らない

(※)母子家庭の母又は父子家庭の父であって、現に児童(20歳に満たない者)を扶養し、以下の要件を全て満たす方

- ・児童扶養手当の支給を受けているか又は同等の所得水準にあること
- ・養成機関において1年以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれること  
(対象資格の例)

看護師、介護福祉士、保育士、歯科衛生士、理学療法士、保健師、助産師等

- ・仕事または育児と修業の両立が困難であること

7-14あなたは、「高等職業訓練促進給付金」の給付要件である次の要件にあてはまりますか。要件1:母子家庭の母である、又は父子家庭の父である。要件2:現在、20歳未満の子供を、自分が扶養している(親や元配偶者が扶養している訳ではない)。要件3:自分自身の所得が高くなく、ひとり親家庭に対する児童扶養手当の支給要件※を満たしている

※例えば子供1人なら所得192万円以下、子供2人なら所得268万円以下であること。

1. 要件3つともにあてはまる
2. 要件2つにあてはまる
3. 要件1つのみあてはまる
4. あてはまらない

(前問で1と回答)

7-15あなたは、「高等職業訓練促進給付金」を利用したいと思いませんか。

1. 利用したい
2. 利用したいと思わない
3. わからない

## 8【属性情報等】

<配偶者のいる方のみ>

8-1 配偶者の職業についてお答えください。

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)

2. 非正規雇用(正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員、有期労働者など)
3. 会社などの役員
4. 自営業(手伝いを含む)
5. 内職・在宅ワーク
6. 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)
7. 学生ではなく就業していない(求職中)
8. 学生ではなく就業していない(求職していない)

<学生のみ>

8-2あなたの学業についてお答えください。

1. 高校生( 年生)
2. 高等専門学校(高専)生( 年生)
3. 専門学校生
4. 短大生( 年生)
5. 大学生( 年生)
6. 大学院生( 年生)
7. その他(具体的に)

8-3通学している学校の所在地はどこですか。

所在地の都道府県(47 都道府県プルダウン)

<学生を除く全員>

8-4あなたの最終学歴についてお答えください。

1. 中学卒
2. 高等学校卒
3. 専門学校卒
4. 短大・高専卒
5. 大学卒
6. 大学院修了

<就業者のみ>

8-5あなたの勤務先の企業等の業種について、最もあてはまるものお答えください。

1. 農林漁業

2. 建設業
3. 製造業
4. 卸売業
5. 小売業
6. 金融・保険・不動産業
7. 運輸業
8. 情報通信業
9. 電気・ガス・水道業
10. 公務員
11. 教育、学習支援業
12. 医療、福祉
13. 保育関係
14. その他のサービス業(対人サービス)
15. その他のサービス業(対事業所サービス)
16. わからない・その他

8-6あなた自身の仕事(職種)について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 管理職(役員含む)
2. 営業
3. 経理
4. 人事・総務
5. その他の事務職
6. 医療・福祉・介護職
7. 生産工程(製造、修理、検査等)
8. IT専門職
9. 建設・機械技術職
10. その他の技術職・専門職(法務・デザイン等)
11. 店舗での販売・接客等
12. その他のサービス職
13. わからない・その他

8-7勤務地はどこですか。

勤務地の都道府県(47 都道府県プルダウン)

8-8現時点の通勤時間(片道)を選択してください。

プルダウン:通勤不要 or 10分単位で選択(最大は「3時間以上」)

8-9 勤務先の企業規模(従業員数)について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 1人(個人事業主)
2. 2~29人
2. 30~299人
3. 300~999人
4. 1,000人以上

<以下全員>

8-10 あなたの世帯は何人ですか。あなたご自身を含めてお答えください。

( )人

8-11 あなたは、SNS(Facebook、Twitter、LINE など)を使用していますか。

1. 毎日使用している
2. 時々使用している
3. たまに使用している
4. 使用していない

8-12 あなたの世帯全体の年間収入(税・社会保険料込)はおよそどのくらいですか。

1. 100万円未満
2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 400万円未満
5. 400万円以上 500万円未満
6. 500万円以上 600万円未満
7. 600万円以上 700万円未満
8. 700万円以上 800万円未満
9. 800万円以上 900万円未満
10. 900万円以上 1000万円未満
11. 1000万円以上 2000万円未満
12. 2000万円以上 5000万円未満
13. 5000万円以上 1億円未満
14. 1億円以上 3億円未満
15. 3億円以上

8-13 あなた自身の年間収入(税・社会保険料込)はおよそどのくらいですか。

1. 100万円未満

2. 100 万円以上 200 万円未満
3. 200 万円以上 300 万円未満
4. 300 万円以上 400 万円未満
5. 400 万円以上 500 万円未満
6. 500 万円以上 600 万円未満
7. 600 万円以上 700 万円未満
8. 700 万円以上 800 万円未満
9. 800 万円以上 900 万円未満
10. 900 万円以上 1000 万円未満
11. 1000 万円以上 2000 万円未満
12. 2000 万円以上 5000 万円未満
13. 5000 万円以上 1 億円未満
14. 1 億円以上 3 億円未満
15. 3 億円以上

8-14 あなたの世帯全体の金融資産(預貯金や有価証券等)は、およそどのくらいですか。  
(借金を引く前の額をお答えください)。

1. 100 万円未満
2. 100 万円以上 300 万円未満
3. 300 万円以上 500 万円未満
4. 500 万円以上 700 万円未満
5. 700 万円以上 1,000 万円未満
6. 1,000 万円以上 2,000 万円未満
7. 2,000 万円以上 5,000 万円未満
8. 5,000 万円以上 1 億円未満
9. 1 億円以上 3 億円未満
10. 3 億円以上

8-15 出身地はどこですか。

出身の都道府県(プルダウン:47 都道府県、海外、わからない)

(※)出生地、小さな頃に暮らした地域、実家のある地域等から主な都道府県を1つ選択。現住所と同じでも可。